

たれかおるさかの原の思ひ草吾なきならば花は咲らむ

女郎花を思草といふ事は、齋院せむざい草盡に見えたり、天智天皇草名異名には薄といへり、又しをんとも、不分明、但女郎花を思草と云事は、彼前裁合に定らる、條勿論なり、又櫻をも能

因法師は詠せり、

〔重修本草綱目啓蒙十一〕敗醬

オモヒグサ 萬葉集 コノテガシハ

女郎花和名

今集古ヲミナメシヲミナエシ 備前チメグサ 和名鈔

菊花女 一名苦齋菜藥性奇方 増、一名

若蔗菜古今醫統 若蓮菜名醫類案

種樹家ニ多ク黄花ノモノヲ裁ユ、即女郎花ナリ、又山中ニ自生モアリ、春舊根ヨリ苗ヲ生ズ、葉ハ

玉帯ノ葉ニ似テ多ク叢生ス、圓莖高サ三四尺、節ニ對シテ葉ヲ生ズ、菊葉ニ似テ岐深シ、梢ニ至レ

バ、變ジテ艾ノ梢葉ノ如シ、夏ノ末花ヲ枝梢ニ簇生ス、未ダ開ザル者ハ細碎ニシテ、粟粒ノ如ク深

黄色、已ニ開ク者ハ五出ニシテ色淺ク、臭氣アリ、採テ瓶花ニ供ス、是黄花ノ敗醬ニシテ、救荒本草

ノ地花菜ナリ、時珍説クトコロノ者ハ、白花ノ者ヲ指ス、即男郎花和名抄ナリ、又南樓花同上ニ作ル、ヲ

メシ、オホトチ、ヲトコヲミナノ花共ニトチナ、信州、勢州 山野ニ自生多シ、苗葉黄花ノモノ

ヨリ肥大ナリ、脚葉ハ岐深クシテ、タマボウキノ葉ニ似タルモアリ、又岐ナクシテ細鋸齒アルモ

アリテ變葉多シ、皆短毛臭氣アリ、圓莖高サ四五尺、四月ヨリ秋ニ至マデ白花ヲ開ク、黄花ノ者ヨ

リ大ナリ、又一種春ノヲミナメシト云アリ、一名カノコサウ、キヌマキ、サクラガハグサ、コレニ雌

雄ノ二種アリ、雄ナル者ハ葉黄花ノ敗醬葉ニ似テ小ナリ、薄クシテ尖レリ、三月ニ花ヲ開ク、紅白

相雜ル、故ニカノコサウト云、雌ナル者ハ小草ナリ、高サ一尺許、花葉トモニ小ナリ、深山幽谷溪側

ニ多シ、俗ニ和ノ甘松ト云ハ誤リナリ、根甚細小ニシテ臭シ、全ク甘松ノ類ニ非ズ、又一種加州ノ

白山ヨリ出ルモミヂバナノヲミナメシアリ、一名白山ヲミナメシ、種樹家ニテ金鈴花ト云、圓葉ニ